

令和7年度 【3学期始業式】

広小学校のみなさん、新年のあいさつをしましょう。

明けましておめでとうございます。

冬休みは、クリスマス、正月などで、いろいろな人と「かかわり」、楽しく笑顔で過ごすことができたでしょうか。3学期もいろいろな人との「かかわり」を大切にしながら、**みんなでチャレンジ**していきましょう。

みなさんに質問です。今年の干支（えと）は、何でしょうか。

午年（うまどし）となりました。

「うま」に関わることわざは、いろいろあります。その中からひとつ紹介します。

難しいことわざです。「**人間万事塞翁が馬**」を知っていますか。意味は、「**人生幸せも不幸せも予測ができないということ**」です。

一見、不幸せに思ったことが幸せに転じたり、その逆だったりすることがあるので、安易に喜んだり悲しんだりするべきではないというたとえです。

実は、このことわざは、次のお話のもとになったと言われています。

中国の国境の塞（とりで）の近くに、翁（老人）が住んでいました。

あるとき老人が飼っていた馬が隣の国に逃げてしまい、近所の人々は同情しましたが、老人は「このことが幸運を呼ぶかもしれない」と言いました。そしてその通りに、数ヶ月後、逃げた馬が立派な馬を連れて帰ってきたのです。

近所の人々は祝福しましたが、老人は「このことが不幸を引き起こす原因になるかもしれない」と言いました。その通りに老人の息子がその馬に乗り、足の骨を折る怪我をしたのです。

近所の人々は見舞いましたが、老人はまた「このことが幸運を呼ぶかもしれない」と言いました。一年して隣の国が大軍で攻め入ってきました。若者は戦争に駆り出され、10人のうち9人が戦死しましたが、老人の息子は足の怪我のおかげで戦争に駆り出されず命を落とさずにすみました。

このお話から「**人間万事塞翁が馬**」「**人生幸せも不幸せも予測ができないということ**」ということわざが生まれました。

2学期の終業式で、「おだんごとん」のお話をしました。みなさん、覚えていますか。

残念ながら、ケンちゃんのはじめてのおつかいは、失敗に終わりました。しかし、ケンちゃんは、あきらめませんでした。

続きの「おだんごとんリベンジ」を読んで聞かせます。

〔絵本「おだんごとんリベンジ」読み聞かせ〕

みなさん、読み聞かせは楽しかったですか。

よいことだと思っていたら悪いことになってしまった、またその反対の悪いことがよいことになったなんてことも、みなさん、経験はないでしょうか。

悪いことはよいことの前触れ。不幸だと思えるときがあっても落ち込みすぎないで、「**人間万事塞翁が馬**」。そういうこともあるさとケンちゃんのように「**あきらめない勇氣**」をもって過ごしていきましょう。

さあ、3学期が始まります。

今年も広小学校は、みんなが「**いきいき**」と学校生活を送るために、いつもの2つのこと（「**みんなでチャレンジ**」「**あたりまえのことをあたりまえにする**」）を意識しながら、「**あきらめない勇氣**」をもって取り組んでいきましょう。

みなさん、3学期も一緒にがんばっていきましょう。